



## ボッシュのネットワーク化サービスで クルマの運転が変わる Bosch ConnectedWorld 2018 でネットワーク化された モビリティサービスの数々を紹介

2018年2月

PI 9999 BBM Fi/af

- ▶ シェアリングからマルチモーダルまで: ストレスのない都市交通実現のためのサービス
- ▶ スマートパーキングから人命救助まで、クラウドベースで対応: コネクテッドカーでリラックスし、気軽かつ安全に走行するためのサービス
- ▶ ネットワーク化はストレス、事故、そして排出ガスのないモビリティ実現の原動力

ベルリン/シュトゥットガルト(ドイツ)発 - 車両キーに代わるスマートフォンアプリ、面倒な駐車スペース探しを一掃するデジタル駐車場マップ、自分のクルマを持たずとも、不自由を感じさせないシェアリングサービス。ネットワーク化は、道路利用者の日々の暮らしをより便利にします。全世界の路上で、ドライバーのストレスが軽減され、同時に安全性と利便性が向上します。市場調査会社のガートナーによると、2020年までに全世界で2億5,000万台の車両がネットワーク接続される見通しです。そうした中ボッシュはモビリティサービスプロバイダーとしての地位強化に向けて努力を続けます。Bosch ConnectedWorld 2018で、グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは、乗用車ドライバー向けに開発したモビリティサービスと、ネットワークベースのサービスラインナップを紹介します。

### ストレスのない都市交通実現のためのシェアリングサービスとマルチモーダルなモビリティ:

COUP: 予約し、支払いを済ませ、さあ出発。[e スクーター シェアリングサービスのCOUP](#) は、公共輸送機関、マイカーあるいはタクシーに代わるシンプルな交通手段です。すでに稼働中のベルリンとパリに続き、今夏にはマドリッドの路上にも e スクーターが姿を現します。ユーザーは COUP アプリを使って、最寄りの場所にある e スクーターを探し、予約し、直ちに出発できます。

moveBW: 2017年7月、ボッシュが開発中のマルチモーダルモビリティアシスタントの[moveBW](#) がテスト段階を迎えました。このサービスは、リアルタイムのデータを用い

て、市街を通り抜ける最も手っ取り早いルートを探します。通勤・通学者は目的地に、時間を無駄にすることなく柔軟に向かうことができます。他方、市当局は市内の交通密度を管理でき、モビリティサービスプロバイダーはそれぞれが提供する交通手段の稼働率向上を図ることができます。

myScotty: スタートアップ企業の myScotty が開発したアプリを使い、ユーザーは乗用車、スクーター、自転車、その他のシェアリングサービス、タクシーまたはレンタカーなど、さまざまな交通手段の中から最適なものを使って、いつでも思い立ったときに移動できます。サービスの予約と支払いはスマートフォンで処理できます。myScotty では、サービス利用者の身元証明に、短時間のビデオチャットを使用します。ユーザー登録と本人確認は、サービスプロバイダーと共にスタートアップ企業が行います。

### ストレスのないモビリティのためのネットワーク化サービス

コミュニティ ベース パーキング: ポッシュが開発した、駐車スペース検索エンジンの コミュニティ ベース パーキング は、ドライバーに代わって適切な駐車スペースを探します。路肩に駐車した 2 台の車両の横を自車が走り抜けるときに、駐車支援システムの超音波センサーを使ってスペースの長さを測定します。収集したデータはデジタルパーキングマップに転送され、それを手掛かりにドライバーは適切な空き駐車スペースへと向かうことができます。

自動バレットパーキング: ポッシュの 自動バレットパーキング は、駐車のための操作を車両自体に行わせる未来型ソリューションです。ドライバーは駐車場の入り口でクルマから降り、スマートフォンアプリを操作して車両自体が駐車するよう指示を出します。車両は空き駐車ロットを自分で探し、人手を介すまでもなく、自分でそこに進入し、停車します。この完全自動駐車サービスを実現するには、もうひとつ、車載ソフトウェアとつながり、車両を誘導するスマートな駐車場インフラが必要です。

無線ネットワーク経由のソフトウェア更新: ポッシュの 無線ネットワーク経由のソフトウェア更新 サービスにより、車両は修理工場持ち込みをデジタルに管理します。スマートフォンのアプリと同様の手法で、車両に関するデータを安全かつ高い信頼性で更新できるほか、デジタル駐車場マップなどの追加機能をダウンロードできます。

パーフェクトなキーレス化: 出発間際になって車両のキーが見つからず、慌てて探すドタバタともお別れです。ポッシュの パーフェクトなキーレス化 はドライバーがスマートフォンを使用して、車両のロックとアンロック、エンジンの始動を行います。車両のオーナーは、アプリを使って車両へのアクセス権を別のユーザーに譲ることができます。これにより、家族や会社、シェアリングサービスプロバイダー、フリート運用者は、誰に、いつ車両へのアクセス権を与えるかを柔軟に管理できます。

予測診断: 予測診断サービス は普段の走行中にクラウドから得たデータと情報を利用して、バッテリー、燃料フィルター、ブレーキシステムなどの重要な車両コンポーネントの状況をチェックします。いずれかの部品に磨耗の兆候が見つかったら、大事に至る前

にドライバーに通知し、次回の修理工場訪問時期を提案します。それにより、車両の突如の故障を予防できます。

コンシェルジュサービス: コンシェルジュサービスはハンドルを握るドライバーに常に寄り添うパーソナルアシスタントです。最寄りの郵便局を探す、レストランやコンサート会場の予約を入れる、不慣れな街で何をすべきかのヒントを示す、などをしてドライバーを助けます。ドライバーが行き先を決めると、コンシェルジュサービスが車両のナビゲーションシステムにアドレス情報を直接送ります。

トラック向けの安全駐車サービス: 欧州全域で提供が始まった[ポッシュのトラック向けの安全駐車](#)予約サービスは、トラック運転手が適切で安全な駐車場所を探す支援をします。そのためにポッシュは、トラック用駐車スペースの塞がり状況をリアルタイムでモニターします。物流企業とトラックの運転手は無償のオンラインポータルを利用して、さらに将来はアプリからでも、ルート上にある駐車スペースを事前にまたは走行中に予約することができます。その結果、ルート選択と休憩プランニングの改善につながります。

#### 交通事故のないモビリティのためのネットワーク化サービス

データクラウドに潜む守護天使: ドイツ国内だけで年間 2,000 件近い逆走車警報が交通無線で流されています。警報が間に合わなかったというケースがほとんどです。逆走車の 3 分の 1 は平均して 500 m 程度走行したところで事故を起こし、最悪のケースでは人命が失われているからです。ポッシュの[クラウドベースの逆走警報](#)は、10 秒足らずで警報を発令するように設計されています。この警報は当の逆走車のドライバーだけでなく、近くにいるすべての道路利用者に向けて発せられます。つまりこのサービスは、データクラウドに住まう守護天使のようなものだと言えるかもしれません。

eCall - 人命を救う: 2018 年 4 月以降、EU 域内で新車登録されるすべての車両にネットワーク化された人命救助サービスが標準装備されます。この自動緊急通報、略して eCall は、車両が事故に遭遇すると、自動的に救助を要請します。それにより、年間約 2,500 人の命が救われると期待されています。この eCall ソリューションのためにポッシュは、テレマティクスソリューションに加えて、ポッシュ カーサービスステーションを通じて包括的なサービスを提供します。[後装備型 eCall](#) は車両のシガーライターに差し込んで装着します。運転行動を分析し、そのデータを Bluetooth 経由でドライバーのスマートフォンに送信する強化バージョンも提供されます。

mySPIN - スマートフォン統合ソリューション: ポッシュの [mySPIN スマートフォン連携ソリューション](#)があれば、スマートフォンのナビゲーション、ストリーミングサービス、またはカレンダーをハンズフリーキットで、クルマの運転中、または二輪車のライディング中に利用できるようになります。スマートフォンとそのアプリを車両のインフォテインメントシステムに統合しさえすれば、準備完了です。将来は前方の通行止め箇所などをドライバーに警告する情報を、クラウドからリアルタイムで取り込み、表示できるようになります。

ドライビングアプリ:このアプリはスマートフォンの電話、ナビゲーション、メッセージ交換、およびミュージック関係のアプリを、走行中にボイスコマンドとジェスチャーで安全に操作できるようにします。操作のためにスマートフォンに触れ、またはその画面に視線を走らせる必要がなく、ドライバーは路上の状況により集中できます。また、インフォテインメントシステムを装備していない車両では、ドライビングアプリがドライバーにより良い利便性と娯楽性を提供します。

コネクテッドホライズン:[コネクテッドホライズン](#)は、クルマの運転をより安全かつ手軽にします。混雑や事故などの交通情報のほか、高低差やコーナーなど、地形絡みのルートデータ、道路標識や制限速度などのインフラデータを、すべてリアルタイムで提供します。前方の進路の状況をダイナミックにプレビューし、それに合わせて走行モードを調整することができます。状況の先読みによって、安全性と利便性が強化されます。

レーダー ロード シグニチャー:自動運転には、高解像度マップが欠かせません。ポッシュはレーダーセンサーで捉えた情報を利用する現在位置特定サービスの [Radar Road Signature\(レーダー ロード シグニチャー\)](#)を開発しました。情報は高解像度マップに統合され、自動運転車両が所与のレーン内で自車の位置を精密に決定するのを支援します。

道路状況予見サービス:ポッシュのこのサービスは、道路交通安全の向上に寄与します。路面グリップは季節や天候によって変化するため、ドライバーまたは自動運転車両はそれに合わせて走行スタイルをアレンジし、危険な状況を避ける必要があります。ポッシュが開発したクラウドベースのこのサービスは、路面状態に関する情報を提供します。このサービスは、横滑り防止装置 ESC(エレクトロニック スタビリティ コントロール)のセンサーを使用し、路面のグリップが良好か、滑りやすくなっているかを判定します。たとえば、気象情報を利用して、サービスは現在の路面摩擦係数を計算し、それが今後どのように変化するかを予測します。そのデータはクラウドを通じてリアルタイムにネットワーク化された車両に伝えられます。

#### **e モビリティのためのネットワーク化サービス**

充電&決済アプリ:電気自動車の充電ステーション探しと充電料金決済を、スマートフォンで、それもシングルクリックですべてを処理できます。ポッシュはそのための [充電アプリ](#)を、メルセデス・ベンツ、smart、ルノーを含む自動車メーカーと一緒に開発しました。これら自動車メーカーは現在、欧州 5 カ国で約 1 万 7,400 カ所の充電ステーションを顧客の利用に供しており、その数はますます増える見通しです。

**報道用写真**:#1081920, #1138654, #452462, #1147919, #1152554, #1152553, #1150662, #1-CC-21424, #1-CM-21209, #1068267, #1128260, #1138651

**報道関係対応窓口**:

## 自動化

**Jörn Ebberg**

電話: +49 711 811-26223、E メール [Joern.Ebberg@bosch.com](mailto:Joern.Ebberg@bosch.com)

## 電動化

**Florian Flaig**

電話: +49 711 811-6282、E メール [Florian.Flaig@bosch.com](mailto:Florian.Flaig@bosch.com)

## ネットワーク化

**Annett Fischer**

電話: +49 711 811-6286、E メール [Annett.Fischer@bosch.com](mailto:Annett.Fischer@bosch.com)

## 商用車、二輪車、スタートアップ企業

**Inga Ehret**

電話: +49 711 811-16476、E メール [Inga.Ehret@de.bosch.com](mailto:Inga.Ehret@de.bosch.com)

### 世界のボッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2016年の売上高は439億ユーロで、総売上高の60%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle (車車間)およびVehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017年の従業員数は約40万500人(2017年12月31日現在)、暫定決算報告での売上高は780億ユーロ(約9.9兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社450社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界125の拠点で約6万2,500人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業者であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

\*2017年の為替平均レート:1ユーロ=126.71118円

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)